

石岡市の家計簿

財政事情書は市の家計簿で、年2回「広報いしおか」に掲載しています。

今回は、平成29年度決算の見込みと、平成30年度の6月30日現在までの財政状況をお知らせします。

平成29年度 一般会計決算の見込み

◎収入が減額・支出が増額となりました

一般会計の当初予算額は、321億6000万円でしたが、繰越事業費予算額12億9277万円、補正予算額6億73万円を加えて、予算総額は340億5950万円となりました。

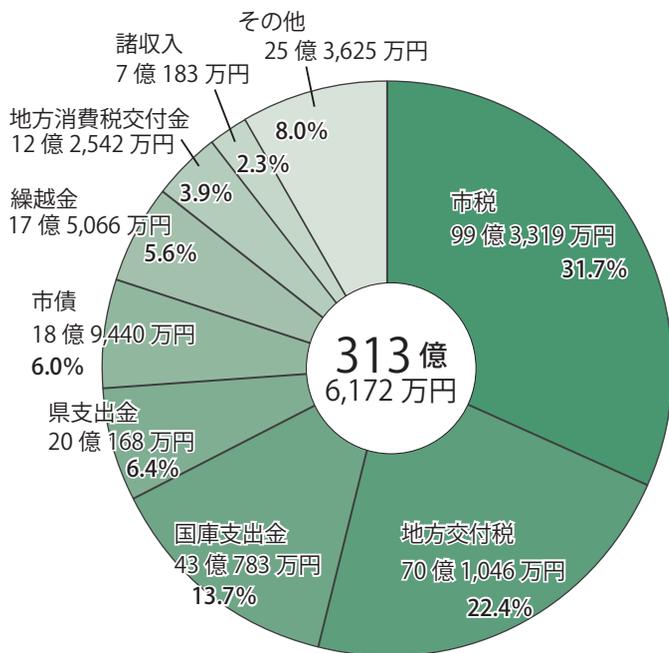
決算額は、収入合計が313億6172万円、支出合計が299億9575万円でした。

平成28年度決算と比べると、収入は1・1%の減、支出は0・2%の増となりました。増減の主な理由として以下の項目があげられます。

- 収入：市債の減、地方交付税の減
- 支出：新庁舎建設工事の増（総務費）、介護・訓練等給付費の増（民生費）

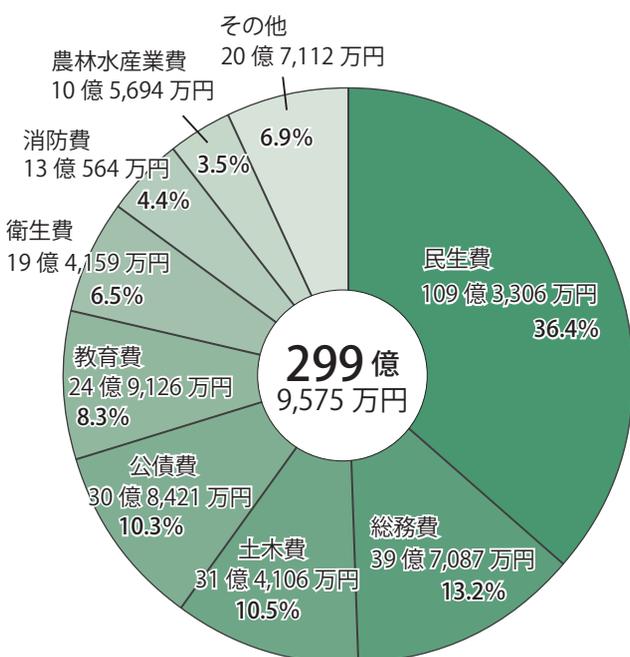
収入から支出を差し引いた額13億6597万円は、平成30年度へ繰り越しとなります。

収入



分類	説明
市税	市民税や固定資産税など、私たちが市に納める税
地方交付税	国税のうち、一定の基準に基づき市に配分される税
国庫支出金	国から特定の事務事業のために交付される補助金や委託金など
県支出金	県から特定の事務事業のために交付される補助金や委託金など
市債	公共施設の整備などにあてるための借入金
繰越金	平成28年度からの繰越金
地方消費税交付金	地方消費税のうち、基準に基づき市に配分されるもの
諸収入	市預金利子や貸付金元利収入、雑入など
その他	地方譲与税、繰入金、寄附金、負担金および分担金など

支出



分類	説明
民生費	福祉（障がい者、高齢者、児童など）事業や生活保護などにかかる経費
総務費	市役所の庁舎管理や市税の賦課徴収、選挙などにかかる経費
土木費	道路や公園、市営住宅の建設や維持管理などにかかる経費
公債費	市債（借入金）の返済にかかる経費
教育費	小中学校や幼稚園、図書館、文化振興などにかかる経費
衛生費	医療や環境対策、ごみ処理などにかかる経費
消防費	消防、防災や救急活動、消防団などにかかる経費
農林水産業費	農林水産業の振興などにかかる経費
その他	議会費、商工費、諸支出金など



市には、8つの特別会計があり、各会計の平成29年度決算見込みは下表のとおりです。

国民健康保険や下水道事業などのように、保険料や使用料などの特定の収入で運営する事業について、その事業にかかるお金の流れを分かりやすくするために、一般会計とは別に設けられた会計区分のことです。

■特別会計とは

平成29年度
特別会計決算の見込み

特別会計名	予算総額	収入合計		支出合計		収入支出差引額
		(予算に対する割合%)		(予算に対する割合%)		(翌年度に繰越)
国民健康保険 国民健康保険税の徴収や保険給付などにかかる特別会計	106億 6,758万円	96億 9,367万円	90.9%	92億 8,446万円	87.0%	4億921万円
下水道事業 下水道施設の整備や管理運営にかかる特別会計	24億 7,794万円	22億 8,756万円	92.3%	22億 6,446万円	91.4%	2,310万円
駐車場 市営駐車場の管理運営にかかる特別会計	2,818万円	2,880万円	102.2%	2,755万円	97.8%	125万円
農業集落排水事業 農業集落排水施設の整備や管理運営にかかる特別会計	3億2,970万円	3億2,504万円	98.6%	3億2,267万円	97.9%	237万円
霊園事業 市営霊園の管理運営にかかる特別会計	1,858万円	2,275万円	122.4%	1,729万円	93.1%	546万円
介護保険 介護保険料の徴収や介護保険給付などにかかる特別会計	74億 1,040万円	70億 5,240万円	95.2%	66億 7,972万円	90.1%	3億7,268万円
介護サービス事業 特別養護老人ホーム「のぞみ」の指定管理や介護サービスなどにかかる特別会計	3億2,374万円	2億8,660万円	88.5%	2億8,660万円	88.5%	0
後期高齢者医療 後期高齢者医療保険料の徴収や後期高齢者医療広域連合納付金にかかる特別会計	7億9,425万円	7億7,924万円	98.1%	7億7,758万円	97.9%	166万円
合計	220億 5,037万円	204億 7,606万円	92.9%	196億 6,033万円	89.2%	8億1,573万円

※簡易水道事業特別会計は、湖北水道企業団との事業統合により、平成28年9月30日で廃止となりました。

企業会計名		予算総額	決算見込額 (予算に対する割合%)	
水道事業 (八郷地区の水道施設の管理運営にかかる特別会計)			収入	支出
収益的収入	収入	5億9,373万円	5億9,900万円	100.9%
および支出	支出	5億7,075万円	4億8,778万円	85.5%
資本的収入	収入	3億4,437万円	1億9,762万円	57.4%
および支出	支出	4億7,617万円	4億2,488万円	89.2%

※それぞれの額には、前年度から繰り越された繰越額を含みます。

民間企業と同じように、使用料などの収入によって収益を上げ、その収益により運営を行う会計区分のことです。市では、水道事業にのみ導入しており、管理・運営にかかる収益的収支と、施設の整備・改修にかかる資本的収支に分かれています。

■企業会計とは

平成29年度
企業会計決算の見込み

昨年11月1日にリニューアルした
常陸風土記の丘ふれあい広場の大型遊具



工事が進む新庁舎建設事業



平成29年度の
主な実施事業

平成30年度 一般会計・特別会計予算執行状況

会計名	予算総額	4月～6月 収入合計 (予算に対する割合%)		4月～6月 支出合計 (予算に対する割合%)		4月～6月 支出負担行為額 (予算に対する割合%)	
		収入	割合	支出	割合	行為額	割合
一般会計	346億2,381万円	94億2,044万円	27.2%	53億9,367万円	15.6%	121億823万円	35.0%
国民健康保険	86億5,628万円	13億9,287万円	16.1%	9億7,078万円	11.2%	9億8,109万円	11.3%
下水道事業	23億5,704万円	8,840万円	3.8%	1億1,611万円	4.9%	4億5,778万円	19.4%
駐車場	2,760万円	784万円	31.0%	90万円	3.3%	308万円	11.2%
農業集落排水事業	3億5,246万円	902万円	2.6%	1,503万円	4.3%	4,941万円	14.0%
霊園事業	1,760万円	820万円	46.6%	70万円	4.0%	759万円	43.1%
介護保険	73億6,894万円	13億7,111万円	18.6%	10億8,687万円	14.7%	11億2,978万円	15.3%
介護サービス事業	3億1,232万円	2,266万円	7.3%	7,516万円	24.1%	2億8,936万円	92.6%
後期高齢者医療	8億3,729万円	7,155万円	8.5%	7,071万円	8.4%	7,075万円	8.4%
合計	545億5,334万円	123億9,209万円	22.7%	77億2,993万円	14.2%	150億9,707万円	27.7%

※それぞれの額には、前年度から繰り越された繰越額を含みます。

※支出負担行為額とは、支出の原因となるべき契約その他の行為によって発生した金額のことで、契約金額などの支払予定額を意味します。

平成30年度水道事業予算執行状況

水道事業		予算総額	4月～6月 収入合計 (予算に対する割合%)	
			収入	割合
収益的収入 および支出	収入	5億7,157万円	8,696万円	15.2%
	支出	5億5,327万円	4,888万円	8.8%
資本的収入 および支出	収入	1億910万円	1億330万円	94.7%
	支出	2億686万円	6万円	0.0%



財産

市が所有している資産
(6月30日現在)

土地	205万2207.31平方メートル (204万8993.15平方メートル)
建物	26万3838.16平方メートル (26万9713.84平方メートル)
基金	126億1,547万円 (118億8,863万円)
有価証券・出資金など	3億9,936万円 (4億336万円)

※()内は1年前の残高です。

今年3月に完成した
小幡地区公民館



財産とは…

家計に例えると、貯金や持ち家のことをいいます。基金は、将来のために蓄えておく預貯金のことです。必要に応じて取り崩して利用しています。

市が所有している土地・建物は、市役所庁舎・小中学校・公民館などです。

◎市の財産

市が所有している資産は、1年前と比較すると、土地は、寄付などにより面積が増加しています。建物は、八郷南中学校を県に売却したことにより面積が減少しています。

基金は、学校施設等整備基金の積立などにより増加しています。

市債

市が借りているお金
(6月30日現在)

会計名	金額
一般会計	289億5,573万円 (299億1,579万円)
うち石岡駅東土地区画整理事業	2,440万円 (3,639万円)
下水道事業	146億3,648万円 (152億5,241万円)
農業集落排水事業	21億8,021万円 (23億2,212万円)
介護サービス事業	1,052万円 (1,100万円)
水道事業	14億9,443万円 (14億7,201万円)
合計	472億7,737万円 (489億7,333万円)

※()内は1年前の残高です。

市債とは…

家計に例えると、住宅ローンなどの長期借入金と同じことをいいます。

主に道路の整備や学校の建設など大型施設を建設・整備するときに利用します。

これらの資産は、多額の建設費用がかかりますが、数十年にわたり世代を超えて長く市民の皆さんに利用されます。そこで、現在利用している人だけでなく、次の世代にも公平に費用を負担していただくという意味で借入れをし、長期間にわたり計画的に返済しています。

◎市債残高は減少しました

市債の現在高は、1年前より16億9,596万円減っています。これは、下水道事業などの残高が減少したためです。

平成29年度の一般会計と特別会計を合わせた市債の借入額は22億7,870万円でした。

市民一人当たりの資産・負債

資産		金額
土地	27.14平方メートル (26.85平方メートル)	
建物	3.49平方メートル (3.53平方メートル)	
基金	16万6,849円 (15万5,763円)	
有価証券 出資金 出捐金 寄託金	5,282円 (5,285円)	
負債		金額
市債	62万5,279円 (64万1,642円)	

※数値は、市の人口7万5,610人(平成30年6月30日現在)で算出しています。
※()内の数字は、1年前のものです。



■問い合わせ

財政課

☎ 23-1111 (内線 234)